

両角友成 県議が2月21日、2月県議会（2/13～3/8）一般質問に立ちました。質問と答弁の要旨を紹介します。



＊＊ 特別支援教育の充実について ＊＊

両角 松本養護学校、若槻養護学校の整備基本方針策定が次年度となっているが、老朽化が進み大規模改修が喫緊の課題。そんなに時間はかけられない。また、他の養護学校の整備はどう進めるのか。

教育長 両校は老朽化が著しく、来年度検討委員会を設置し検討に着手する。他の特別支援学校は中期的な計画を策定し、必要性の高い学校から順次抜本的な整備に取り組んでいく。

両角 中信地区特別支援学校再編により、スクールバスの運行や受け入れ体制に問題が生じ、放課後デイサービスを受けられなくなった例もある。実態の把握や各学校への具体的な支援をすべき。

教育長 受け入れの拡大に伴い設備・備品について順次拡充しているほか、スクールバス運行については、保護者の要望等を踏まえ見直しをしている。今後も各学校と緊密な連絡を取り、生徒の実態や保護者の要望等を把握し、適切な支援をしていく。

＊＊ 河川内支障木の伐採について ＊＊

両角 河川内の支障木撤去は重要な課題である。予算では、河床の整備を含め支障木は根こそぎ除去する現場も想定しているようだ。多くの住民から強い要望があると同時に、大変遅れていたのは確かだ。広大な県内の河川内整備をどう進めるか。

建設部長 国の防災減災国土強靱化のための3カ年緊急対策を活用し、氾濫が想定される範囲に多くの住宅や重要施設のある高瀬川ほか124河川において、支障木や堆積土砂の除去を実施し、これらを原因とする氾濫発生の危険をおおむね解消していく。

＊＊ 防災力向上について ＊＊

両角 「災害シンポジウム」を党県議団でも開催したところ、参加者から『もっと聞きたい、語りたい。』と強い要望があった。県民英知を結集する県主催の災害シンポジウムを、少なくとも地域振興局単位10圏域での開催を。

危機管理部長 各地域振興局や部局でも様々な取り組みを行っている。今後も地域の皆様と防災減災対策を一緒に考える場を設け、実践的な防災訓練の実施や共助による仕組みづくりを推進し、地域防災力の向上を図っていく。

両角 消防職員の充足率は全国で77.4%。県の現状は。

危機管理部長 県内充足率は64.2%。人員確保、消防本部間の相互応援体制の構築など取り組んでいる。

質問を終えて

松本養護学校の大規模改修は大きく前進しました。生活道路の脇の支障木の伐採に森林税が使えることになりました。今後も要求実現の為、力を尽くします。